

# 日本都市ファンド投資法人

2026年4月22日

各位

不動産投資信託証券発行者名

日本都市ファンド投資法人（コード番号 8953）

代表者名 執行役員

西田 雅彦

URL：https://www.jmf-reit.com/

資産運用会社名

株式会社 K J R マネジメント

代表者名 代表取締役社長

荒木 慶太

問合せ先 執行役員 都市事業本部長

町田 拓也

TEL：03-5293-7081

## （訂正）「2026年2月期 決算短信(REIT)」の一部訂正に関するお知らせ

日本都市ファンド投資法人は、2026年4月21日に公表した「2026年2月期 決算短信(REIT)」の記載内容の一部を下記の通り訂正いたします。

### 記

- 訂正理由  
後記訂正箇所において、記載内容の一部に誤りがあったため。なお、数値データについては変更ありません。
- 訂正箇所（下線部は、訂正箇所を示します。）

### サマリー情報

「2. 2026年8月期の運用状況の予想（2026年3月1日～2026年8月31日）及び2027年2月期の運用状況の予想（2026年9月1日～2027年2月28日）」

### [訂正前]

(%表示は対前期増減率)

	営業収益		営業利益		経常利益		当期純利益		1口当たり分配金 (利益超過分配金は含まない)	1口当たり 利益超過分配金
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円	円
2026年8月期	51,028	△2.0	25,663	△3.7	<u>22,454</u>	△5.2	<u>22,453</u>	△5.2	2,981	—
2027年2月期	46,168	△9.5	21,014	△18.1	<u>17,667</u>	△21.3	<u>17,667</u>	△21.3	2,900	—

(参考) 1口当たり予想当期純利益 (2026年8月期) 3,121円

1口当たり予想当期純利益 (2027年2月期) 2,456円

(注) 予想分配金について、2026年8月期については当期末処分利益に配当積立金取崩額448百万円を加算した金額から、圧縮積立金に繰り入れる1,460百万円を控除した金額となっています。2027年2月期については当期末処分利益に圧縮積立金取崩額 2,872百万円及び配当積立金取崩額319百万円を加算した金額となっています。

### [訂正後]

(%表示は対前期増減率)

	営業収益		営業利益		経常利益		当期純利益		1口当たり分配金 (利益超過分配金は含まない)	1口当たり 利益超過分配金
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円	円
2026年8月期	51,028	△2.0	25,663	△3.7	<u>22,457</u>	△5.2	<u>22,456</u>	△5.2	2,981	—
2027年2月期	46,168	△9.5	21,014	△18.1	<u>17,664</u>	△21.3	<u>17,664</u>	△21.3	2,900	—

(参考) 1口当たり予想当期純利益 (2026年8月期) 3,122円

1口当たり予想当期純利益 (2027年2月期) 2,455円

# 日本都市ファンド投資法人

(注) 予想分配金について、2026年8月期については当期未処分利益に配当積立金取崩額 448 百万円を加算した金額から、圧縮積立金に繰り入れる 1,463 百万円を控除した金額となっています。2027年2月期については当期未処分利益に圧縮積立金取崩額 2,875 百万円及び配当積立金取崩額 319 百万円を加算した金額となっています。

P4

## 1. 運用状況 (1) 運用状況 B 次期の見通し ii 次期の業績の見通し

[訂正前]

2026年8月期 (第49期 2026年3月1日～2026年8月31日)

営業収益	51,028 百万円
経常利益	<u>22,454</u> 百万円
当期純利益	<u>22,453</u> 百万円
1口当たり分配金	2,981 円

2027年2月期 (第50期 2026年9月1日～2027年2月28日)

営業収益	46,168 百万円
経常利益	<u>17,667</u> 百万円
当期純利益	<u>17,667</u> 百万円
1口当たり分配金	2,900 円

[訂正後]

2026年8月期 (第49期 2026年3月1日～2026年8月31日)

営業収益	51,028 百万円
経常利益	<u>22,457</u> 百万円
当期純利益	<u>22,456</u> 百万円
1口当たり分配金	2,981 円

2027年2月期 (第50期 2026年9月1日～2027年2月28日)

営業収益	46,168 百万円
経常利益	<u>17,664</u> 百万円
当期純利益	<u>17,664</u> 百万円
1口当たり分配金	2,900 円

P7,8

2026年8月期 (第49期 2026年3月1日～2026年8月31日) 及び 2027年2月期 (第50期 2026年9月1日～2027年2月28日) の運用状況の予想の前提条件

[訂正前]

項目	前提条件
営業外費用	<ul style="list-style-type: none"> <li>営業外費用 (支払利息、融資関連費用、投資法人債利息、投資口交付費償却等) は、2026年8月期 (第49期) 3,304 百万円、2027年2月期 (第50期) <u>3,430</u> 百万円を想定しています。</li> </ul>

## 日本都市ファンド投資法人

1口当たり 分配金	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 1口当たり分配金は、本投資法人の規約に定める金銭の分配方針を前提として算出しています。</li> <li>・ 2026年8月期（第49期）の分配金は当期末処分利益 <u>22,453</u> 百万円に、会計処理と税務処理との不一致により発生する追加の税負担回避のため配当積立金取崩額 448 百万円を加算した金額から、圧縮積立金に繰り入れる <u>1,460</u> 百万円を控除した、総額 21,441 百万円を分配（1口当たり分配金 2,981 円）することを前提としています。</li> <li>・ 2027年2月期（第50期）の分配金は当期末処分利益 <u>17,667</u> 百万円に、会計処理と税務処理との不一致により発生する追加の税負担回避のため配当積立金取崩額 319 百万円を加算し、更に任意取崩として圧縮積立金取崩額 <u>2,872</u> 百万円を加算した、総額 20,859 百万円を分配（1口当たり分配金 2,900 円）することを前提としています。</li> <li>・ 会計処理と税務処理との不一致により発生する追加の税負担については、配当積立金の取崩し等により回避することを前提としています。</li> </ul>
--------------	--

[訂正後]

項目	前提条件
営業外費用	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 営業外費用（支払利息、融資関連費用、投資法人債利息、投資口交付費償却等）は、2026年8月期（第49期）3,304 百万円、2027年2月期（第50期）<u>3,435</u> 百万円を想定しています。</li> </ul>
1口当たり 分配金	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 1口当たり分配金は、本投資法人の規約に定める金銭の分配方針を前提として算出しています。</li> <li>・ 2026年8月期（第49期）の分配金は当期末処分利益 <u>22,456</u> 百万円に、会計処理と税務処理との不一致により発生する追加の税負担回避のため配当積立金取崩額 448 百万円を加算した金額から、圧縮積立金に繰り入れる <u>1,463</u> 百万円を控除した、総額 21,441 百万円を分配（1口当たり分配金 2,981 円）することを前提としています。</li> <li>・ 2027年2月期（第50期）の分配金は当期末処分利益 <u>17,664</u> 百万円に、会計処理と税務処理との不一致により発生する追加の税負担回避のため配当積立金取崩額 319 百万円を加算し、更に任意取崩として圧縮積立金取崩額 <u>2,875</u> 百万円を加算した、総額 20,859 百万円を分配（1口当たり分配金 2,900 円）することを前提としています。</li> <li>・ 会計処理と税務処理との不一致により発生する追加の税負担については、配当積立金の取崩し等により回避することを前提としています。</li> </ul>

以 上